

平成26年度 事業計画

静岡市の観光を取り巻く状況は、平成25年6月の「三保松原」の世界遺産構成資産への登録、また、平成27年には徳川家康公顕彰四百年を迎えるなど、大きく変わりがつあります。さらに、近年の円安傾向や2020年の東京オリンピックの開催決定なども加わり、外国人を含め、本財団の圏域を訪れる観光客は今後大きく伸びることが期待されます。

このような状況を踏まえ、平成26年度は公益目的事業であるコンベンション等推進事業においては、従来から実施している首都圏等での誘致活動に加え、地元大学等の関係者や国際会議等の開催に影響力を持つキーパーソンの招請などを通じて、学会や国際会議等の更なる誘致に努めるとともに、近年増加傾向にある大型客船の入港時における「おもてなし」事業にも積極的に取り組んでまいります。

また、もうひとつの公益目的事業である観光振興事業においては、「三保松原」や「徳川家康公顕彰四百年記念事業」をPRするためのパンフレットの整備や首都圏等でのプロモーション活動のほか、静岡市と当財団のホームページの一元化による情報発信機能の充実強化を図るなど、国内外からの観光客の誘致事業を積極的に推進してまいります。

【公益目的事業】

I コンベンション等推進事業 47,838千円 (25年度 49,628千円)

1 情報収集事業

(1) 日本政府観光局(JNTO)、JCCB等関連情報の収集

JNTOが実施するコンベンション等振興策の活用及びJCCB主催の会議等からコンベンション等の情報を収集する。

(2) 中部コンベンション連絡協議会、県コンベンション推進協議会等との連携 両協議会と連携を密にし、各種コンベンション等の情報を収集する。

(3) 経済波及効果調査

圏域内で開催したコンベンションの経済波及効果を調査し、コンベンションの開催意義を広く紹介する。

2 誘致事業

(1) 国内外の見本市、商談会等への出展・参加

- ・国内唯一の国際 MICE 見本市である「国際ミーティングエキスポ(IME2014)」へ関係者とともに出展し、圏域のPR及び誘致活動を行う。
- ・JNTOや静岡県などが主催する国外商談会に関係する賛助会員とともに参加し、効果的な誘致活動を行う。

- (2) 首都圏等における誘致説明会・個別訪問
 - ・首都圏等の大会事務局を個別に訪問し、誘致活動を実施する。
 - ・金沢市・高松市・宮崎市・盛岡市と協働し、効率的な大会誘致を行う。

☆地元大学等の関係者を戸別訪問し、学会などの誘致を促進する。
- (3) 東アジア地域からのインバウンド誘致
 - 商談会の開催に合わせ、台湾、韓国及びタイの旅行社、マスコミ等を訪問し、誘致セールスとPR活動を行う。
- (4) 国内外の MICE 主催者等招請事業
 - ☆JNTO や静岡県などの関係機関と連携し、国際会議やインセンティブ旅行などの開催に影響力を有するキーパーソンを招請し、富士山の眺望とアクセスの良さ、充実した会議、宿泊施設、豊かな観光資源を活かしたアフターコンベンションなど、当地域ならではのプログラムの体験を通して誘致の実現につなげる。

3 コンベンション等開催支援事業

- (1) 国際会議誘致助成金交付事業
 - 国際会議の誘致を促進するため、主催者に対し助成金を交付する。
- (2) コンベンション開催準備資金貸付事業
 - 貸付要件を満たす主催者に対し開催準備資金の無償貸付を行う。
- (3) 歓迎モニュメントの設置や観光パンフレット等の提供による支援
 - ① 歓迎モニュメントの設置とデザインの更新
 - ・大会名入りのモニュメントを会場入り口に設置し、歓迎の意を表す。
 - ・既存モニュメントのデザインの更新を図る。
 - ② インフォメーションデスクの設置など
 - ・大会開催時に賛助会員企業の協力を得ながら、観光名所や土産品の案内など参加者の利便を図る案内・販売ブースを設置する。
 - ☆増加する大型客船入港に対応し、国内外からの乗船客に対する歓迎・案内業務を充実する。
 - ③ 観光パンフレット等の作成及び提供
 - ・圏域内の観光施設などの優待割引券マップなどを作成し提供する。
 - ・オリジナルコンベンションバッグ、名札を作成し、廉価で提供する。

II 観光振興事業 116,958千円 (25年度 97,901千円)

1 観光宣伝事業

- (1) 観光パンフレット等作成・配布事業
 - ・既存パンフレットを目的別、客層別に整理統合し、明確化を図る
 - ☆徳川家康公顕彰四百年記念事業に対応したパンフレットを整備する。
 - ☆外国人向けパンフレット（英・韓・タイ）を充実・更新する。

(2) 広告宣伝事業

- ・富士山静岡空港・県名古屋観光案内所等に観光宣伝フィルムを掲出する
- ・旅行雑誌、地方紙等に主要観光地や旬な情報等の広告を掲載する。

(3) 情報発信事業

- ☆静岡市と当財団のウェブサイトを統一し、観光情報の一元化と充実を図る。
- ・静岡市公衆無線 LAN (Shizuoka Wi-Fi Paradise) の普及及びポータルサイトへの情報提供を充実する。

(4) 静岡市プロモーション人材事業

当財団主催イベントや依頼団体のイベントに参加し、事業のPRを図る。

2 観光客誘致事業

(1) 教育旅行団体誘致事業

① 訪日教育旅行誘致

- ・静岡市訪日教育旅行誘致協議会の一員として富士山静岡空港の就航先である台湾などの中高生等の教育旅行誘致のため、JNTO 主催の商談会に参加する。
- ・県内の他ビューローと共同し、韓国からの訪日教育旅行の誘致事業を実施する。

② 修学旅行等教育旅行誘致

静岡市及びしずおか体験旅行事務局と連携し、関東圏、中京圏等の小中学校へ、体験学習メニューを紹介するなどの誘致活動を実施する。

(2) 国内旅行客誘致事業

① 観光キャラバン隊の派遣

- ・賛助会員企業とともに県外の旅行エージェントを訪問し、静岡への誘客に向けた旅行商品の造成を要請する。
- ・派遣先の新聞社やテレビ局などを訪問し、「三保松原」や「徳川四百年記念事業」など静岡市の魅力を積極的にPRする。

② 観光展等出展事業

- ・富士山静岡空港の就航先や姉妹都市、友好都市などで開催される各種観光展やスポーツイベント等に出展し、静岡市の魅力をPRする。
- ☆首都圏における定期的な情報発信イベントを実施する。

3 観光客等受入事業

(1) 観光案内所運営事業

- ・JR静岡駅北口、南口及び清水駅前観光案内所を運営し、静岡市の観光案内や旬な情報を発信することで、観光客その他の利用者の利便性を高める。
- ☆世界遺産登録により観光客が急増している三保松原のガイドンスブースにおいて、三保の魅力とともに、市内の他の観光地を積極的にPRすることで、観光客の回遊性を高める。

- (2) 船宿「末廣」運営事業
清水港船宿記念館「末廣」を運営し、清水港及びその周辺地域の歴史に関する資料展示を行うとともに、観光と物産の情報を提供し、静岡市を訪れた観光客の満足度の向上を図る。
- (3) 観光ボランティア活動支援事業
☆世界遺産登録や徳川四百年記念事業を踏まえ、増加が予想される観光客に対し、静岡市の歴史や文化、観光などをよりの確にガイドできるよう、ボランティア団体の活動を育成、支援する
- (4) おもてなし講座開催事業
・宿泊施設・飲食店・タクシー等の直接観光客と接する事業者又は市民に対し、おもてなしの意識の向上と啓発を目的にセミナーを開催する。
- 4 イベント等支援事業
地域振興への貢献と情報発信及び相当程度の集客力が見込まれるイベントに対し助成するとともに、事業の実施を支援する。
対象事業
・清水カップ全国グラウンドゴルフ大会
・日本平梅まつり
・三保あさり祭り
・井川もみじマラソン
- 5 震災等大規模災害時における被災地支援
震災等の大規模災害が発生した際に被災者を支援するため、該当地の経済的復興を目的とした物産展の開催や当地に避難された方への観光施設利用料補助等の支援を行う。

【収益事業等の実施】

- 1 収益事業 17,746千円 (25年度 17,343千円)
- (1) 観光施設に隣接する駐車場の管理・運営事業
・登呂遺跡駐車場運営事業
・駿府城跡観光バス駐車場受託事業
- (2) 地下道ショーケース貸付事業
- (3) 土産品等販売事業
- 2 相互扶助等事業 4,223千円 (25年度 3,671千円)
- (1) 機関広報紙の作成、配布
- (2) 賛助会員のつどい開催